

茅野市多文化共生・国際交流推進計画

2018－2027

心豊かな多文化共生社会の実現をめざす



長野県 茅野市・茅野市教育委員会

目次

第1章 計画策定にあたって	1
1 計画策定の目的	1
2 計画の位置付けと性格	2
3 計画の期間	2
第2章 茅野市の国際化の現状と課題	3
1 茅野市の現状	3
2 茅野市の課題	11
第3章 計画の基本的な考え方	12
1 基本理念	12
2 基本目標	12
基本目標1 多文化共生のまちづくり	12
基本目標2 国際感覚豊かな人材の育成	12
基本目標3 多文化共生・国際交流推進団体への支援	12
第4章 計画の具体的な取組	14
基本目標1 多文化共生のまちづくり（生活応援体制の確立）	14
具体的目標（1）情報発信・情報提供	14
具体的目標（2）分野別の支援	15
基本目標2 国際感覚豊かな人材の育成	18
具体的目標（1）国際理解の推進	18
具体的目標（2）コミュニケーション能力の向上	18
具体的目標（3）国際交流団体等・ボランティアの育成	19
基本目標3 多文化共生推進・国際交流団体等への支援	20
具体的目標（1）多文化共生推進団体等及び国際交流団体等への支援	20
具体的目標（2）関係機関との連携・協働の推進	20
第5章 計画の進行管理	21
関係資料	22

第1章 計画策定にあたって

1 計画策定の目的

近年、茅野市においても、グローバル化※1やボーダレス化※2が進み、産業や経済にとどまらず、教育・文化・スポーツ等、様々な分野で国際化※3が進み、地域と世界との関わりは日常的なこととなっています。

平成29年（2017年）現在、茅野市においても、約800人の外国籍市民が暮らしています。

こうした国際化の流れに的確に対応していくためには、国際化に対応できる人材育成を進めるとともに、多文化共生※4のまちづくりを推進することが必要です。

このようなことから、今後、市が取り組むべき多文化共生・国際交流推進の考え方や方向性を示す「茅野市多文化共生・国際交流推進計画」を策定します。

※1 グローバル化：政治・経済・文化など様々な側面において、従来の国家・地域の垣根を越え、地球規模で資本や情報のやり取りが行われること。

※2 ボーダレス化：企業の事業展開等が国境を越えて世界規模に広がり、国籍が意味をなさないほど活動の場が国際的に広がること。

※3 国際化：多様な価値観の存在を許容し、共存する社会になること。一般的に「国際交流」と同義で使われることもあるが、「国際交流」は、物と人と企業活動などの相互交流であるとして、国際化とは区別する考え方もある。

※4 多文化共生：国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。

2 計画の位置付けと性格

本計画は、第5次茅野市総合計画の基本構想「政策横断プロジェクト」の中の「多文化の共生と国際交流の推進」に係る分野別計画として位置付けます。

なお、この計画は、平成18年（2006年）に総務省から通知された「地域における多文化共生推進プラン」（総行国第79号総務省自治行政局国際室長通知）及び平成27年（2015年）に策定された「長野県多文化共生推進指針」に基づく計画として位置付けます。

3 計画の期間

本計画の期間は、2018年度から2027年度までの10か年計画とします。

ただし、本計画の進行管理や茅野市を取り巻く社会経済情勢などの変化に対応するため、必要に応じて2022年度に見直しを行います。



第2章 茅野市の国際化の現状と課題

1 茅野市の現状

(1) 外国人数

本市在住の外国人は平成29年（2017年）12月末時点で801人であり、総人口に占める割合は約1.4%となっています。

男女別では、男性が366人、女性が435人となっています。

（外国人数は市民課集計による）

国籍別では中国（20.7%）が最も多く、次いでフィリピン（19.0%）、ブラジル（11.0%）、ベトナム（10.9%）、韓国（10.6%）と続いており、これら上位5か国で全体の約72.2%を占めています。（表1-1）

在留資格別では、「永住者」（39.1%）が最も多く、次いで「技能実習」（18.2%）、「日本人の配偶者等」（8.0%）、「技術・人文知識・国際業務」（7.7%）、「家族滞在」（6.9%）の順となっており、あわせて全体の約79.9%を占めています。（表2-1、2-2）

なお、過去5年間の経過を見ると、外国人数の増減は、平成26年に減りましたが、翌年より微増の状態です。

在留資格別では、「永住者」は増加傾向にありますが、「日本人の配偶者等」で減少傾向が見られます。（表2-1）

表1-1 国籍別外国籍市民数（上位10か国）（各年12月末現在、単位：人）

順位	国籍・地域	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
1	中国	200	190	164	171	166
2	フィリピン	160	166	171	176	152
3	ブラジル	128	106	101	95	88
4	ベトナム	11	13	22	42	87
5	韓国	83	75	68	69	85
6	インドネシア	41	45	51	51	56
7	ネパール	16	17	21	27	37
8	タイ	25	26	27	28	31
9	台湾	5	10	15	13	15
10	インド	0	0	4	2	12
その他		49	60	77	76	72
合計		718	708	721	750	801

※1：順位は平成29年（2018年）基準

表 1－2 国籍別外国籍市民数の推移（上位 10 か国）

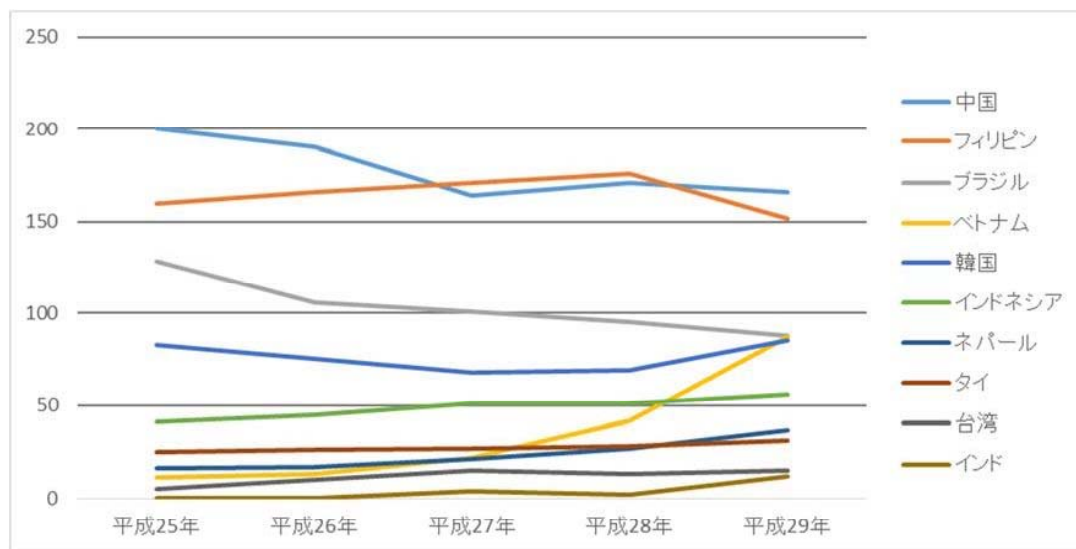


表 2－1 在留資格別外国籍市民数（各年12月末現在、単位：人）

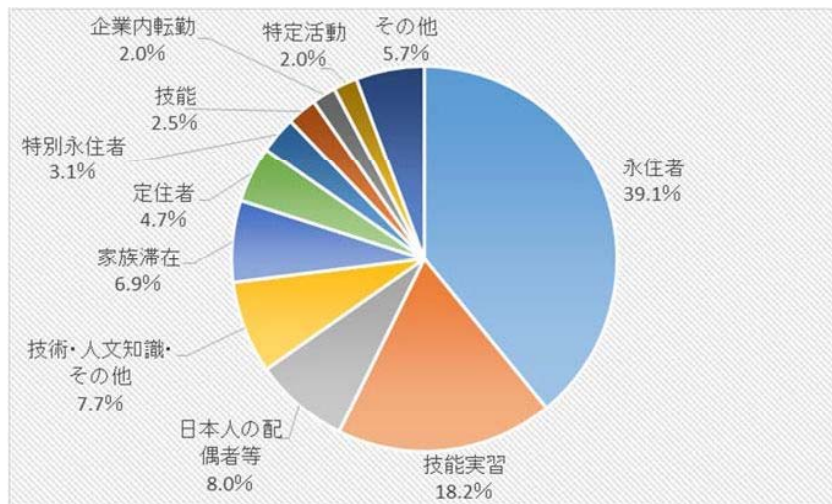
順位	在留資格	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
1	永住者	275	284	285	304	313
2	技能実習	127	143	136	147	146
3	日本人の配偶者等	102	79	71	73	64
4	技術・人文知識・国際業務	0	0	24	38	62
5	家族滞在	39	38	46	42	55
6	定住者	55	33	32	34	38
7	特別永住者	34	34	32	29	25
8	技能	13	11	14	15	20
9	企業内転勤	2	5	5	4	16
10	特定活動	12	12	14	9	16
その他		59	69	62	55	46
合計		718	708	721	750	801

※1 順位は平成 29 年（2017 年）基準

※2 永住者：法務大臣より永住の許可を受けた者（原則 10 年以上在留している等）

※3 技能実習：2010 年 7 月 1 日の入管法改正により新たに創設され、さらに 1 号・2 号の区分がある。従前は、1 年目は「研修」（1 号）、2・3 年目は「特定活動」（2 号）の在留資格で整理されていた。在留資格が「研修」・「特定活動」から「技能実習」に変更されたことにより、講習終了後、実務に従事する期間については労働関係法令が適用されることとなった。

表 2－2 在留資格別外国籍市民数の割合（上位 10 か国）



（２）学校教育

市内小中学校の外国籍児童生徒につきましては、平成28年（2017年）5月1日時点で小学生17人、中学生4人、計21人であり、児童生徒総人数4,617人に占める割合は約0.5%となっています。

（外国籍児童生徒人数は学校基本調査による）

本市では、外国籍児童生徒や帰国子女で、日本語がよくわからない児童生徒に対して、日本語指導員を派遣し、授業の補助や個別指導をしています。

総合的な学習（生活科）では国際理解教育として、多文化や言語の違い、価値観の多様性に関心を持ち、正しく理解するとともに、それらを尊重することができる能力や態度を育てる学習に取り組んでいます。また、人権教育においても、自分と異なる立場や考えを大切にし、認め合い、ともに学び合う共生の関係づくりを目標にして、実践的に学んでいます。

英語教育につきましては、小学校は2020年度改訂の次期学習指導要領に合わせ、本市では平成29年度（2017年度）から、小学校3・4年は年間35単位時間、小学校5・6年は1単位時間の増設、またはモジュール方式等を採用して年間70単位時間になるように時間割を組み、先行実施しています。

また、中学校では、2021年度改訂の次期学習指導要領を見据えて、生徒に理解可能な英語を用いて、英語で進める授業展開を行っています。英語によるコミュニケーション能力を高めて、理解と共生の姿勢を深めています。

その他、平成27年（2015年）1月26日、27日に台湾高雄市の4中学校と茅野市内の4中学校が姉妹校提携を行い、両市の学校交流を通じてお互い

の教育・文化に対する意識をより高め、理解することを目的に、年に2回の交流事業を実施しています。

(3) 労働・雇用

平成28年(2016年)10月末現在で、長野労働局が集計した諏訪公共職業安定所管内で外国人労働者を雇用している事業所数は、318事業所、雇用されている外国人労働者数は、1,553人となっています。

(4) 観光

諏訪地方観光連盟の調査によると、平成28年度(2016年度)に茅野市及び諏訪市に宿泊した外国人旅行客の合計は57,717人で、5年ぶりに前年を下回りました。過去最多の75,696人を記録した平成27年度(2015年度)に比べて23.8%減少しました。これは、台湾や中国の宿泊客や団体客の減少などが要因とみられます。

国・地域別で最も宿泊者数が多かったのは台湾で23,511人(17.2%減)、次いで中国の21,445人(32.9%減)。平成27年(2015年)に急増した香港は3,767人(8.2%減)、タイは2,097人(24.3%減)でした。

なお、平成28年度(2016年度)の宿泊者数の両市の内訳は茅野市が27,405人、諏訪市が30,312人です。

(5) 民間団体による活動状況

本市では、様々な民間団体が外国籍市民に対し、国際交流や生活支援等の活動を行っています。

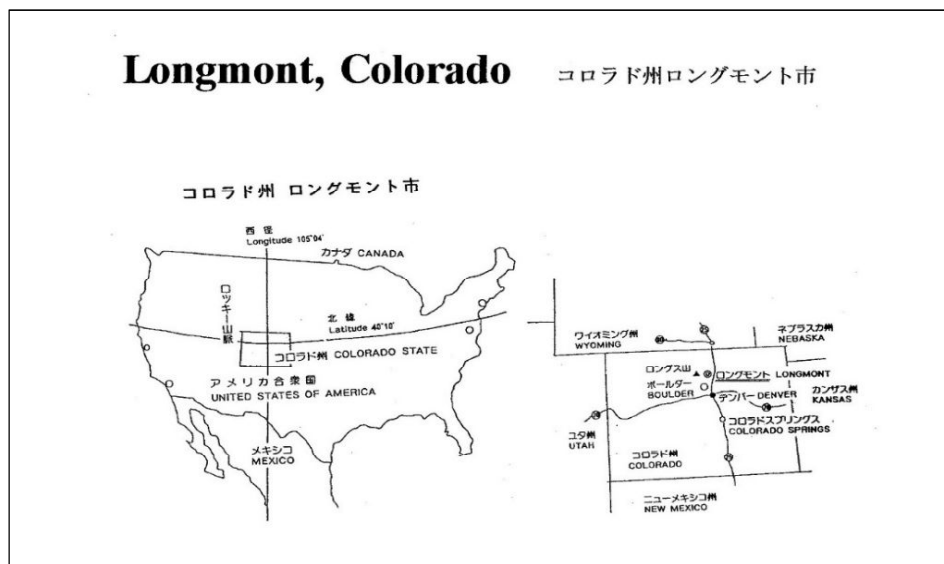
多文化共生・国際交流推進 活動団体

団体名	主な活動内容
NPO法人茅野国際クラブ	茅野市より委託を受け、姉妹都市であるロングモント市とのホームステイ交流事業を行っている。
外国籍市民サポートグループ ねこじゃらし茅野	日本語教室の開催 日常生活相談実施
茅野かけはし	日本語教室の開催
日本語カフェ りぼん	日本語教室の開催

(6) 姉妹都市との交流

本市は、アメリカ合衆国コロラド州ロングモント市と平成2年(1990年)に姉妹都市提携を結び、平成3年(1991年)から中学生及び高校生を対象とした、相互のホームステイ交流事業を行っています。

この事業は、ホームステイを通じ、姉妹都市相互の交流を深める中で、異なる言語や文化を体験し、多様な価値観を学ぶことによって、国際感覚を養い、国際的な視野を持つ人材の育成を目的としています。



◇ロングモント市の概要

位置：コロラド州の州都デンバーから北北西に 50 km

最寄りのデンバー国際空港までは、成田空港より直行便がある。

直行便利用で、約 11 時間でデンバー国際空港に到着、空港からは、車で約 45 分。

面積：約 56 km² (茅野市：約 266 km²)

人口：約 9 万人 (茅野市：約 5.5 万人)

自然：ロッキー山脈国定公園の麓のまちであり、豊かな自然に囲まれている。

ロッキー山脈国定公園へは車で約 45 分

標高：約 1600m (茅野市：市街地の標高約 800m)

文化：ロングモント市から車で 20 分のところにコロラド州立大学 (ボルダー市) がある。

観光：日本の天皇・皇后ご夫妻も訪問・滞在された、安全で美しいまち。

産業：1871 年以來、農業を基盤として発展してきたが、現在は、I C T 産業が盛んであり、全米でもトップクラスの企業（IBM、Intel、Seagate、Xilinx など）が市内に事業所を置いている。そのため、家族とともに移り住む人が多く、姉妹都市提携を結んだ平成 2 年（1990 年）には 5 万人ほどだった人口が、現在では 9 万人になろうとしています。

◇茅野市とロングモント市の姉妹都市提携の歩み

年・月	内 容
昭和 62 年（1987 年） 11 月 24 日	ロングモント市を訪れたことのある、イズミ商工(株)社長の長田健嗣氏（茅野市玉川穴山出身）と、茅野市長が面会する。
昭和 62 年（1987 年） 12 月 15 日	ロングモント市長から、友好関係を持ちたいとの手紙が茅野市長に届く。
平成元年（1989 年） 2 月 2 日	ロングモント市名誉総領事ビル・細川氏より、姉妹都市提携の可能性を探るため、茅野市を訪問したいとの手紙が来る。
平成元年（1989 年） 4 月 1 日～4 月 3 日	姉妹都市実現を願うロングモント市長の手紙を持参し、ビル・細川氏とロングモント市経済開発協会会長ラリー・グリーン氏が茅野市を訪れる。茅野市はこの訪問を歓迎し、理事者、茅野市議会、商工会議所代表が出席する懇談会を開催する。
平成元年（1989 年） 9 月 25 日～9 月 30 日	茅野市、茅野市議会、関係団体代表がロングモント市を訪問し現地調査をする。帰国後、国際交流の実情、ロングモント市の生活環境、交通・産業・経済・教育・文化について、資料に基づき協議する。
平成元年（1989 年） 12 月 5 日	茅野市議会 12 月定例会において姉妹都市提携の提案が可決される。
平成 2 年（1990 年） 5 月 25 日	茅野市にて姉妹都市提携の調印式が行われる。

◇茅野市とロングモント市との学生交流

平成 3 年（1991 年）から続く交流事業では、平成 29 年度（2017 年度）の時点で、204 人の中高生が、ロングモント市でホームステイをし、アメリカの家庭生活を体験しています。

また、滞在中はロングモント市の姉妹都市である、メキシコのグズマン市の学生たちとの交流も行われます。

ロッキー山脈の雄大な自然の中でのキャンプや、ロングモント市議会での英語のスピーチなど様々な体験は、参加した中高生の進路選択等に良い影響をもたらし、この体験が人生に立ち向かう力となっています。

ロングモント市でホームステイした生徒は、翌年、ロングモント市からの学

生たちを各家庭に受入れします。

ロングモント市の生徒は、茅野市に滞在中、市内の保育園及び小・中学校を訪れ、児童生徒等と交流します。この体験は、茅野市の児童生徒等の国際感覚を養う一助となっています。

ホームステイ交流事業を通じて、中学生高校生は相互に友情を育み、国際交流ならではの素晴らしい人間関係が生まれています。

(7) 姉妹校との交流

両市の学校交流を通じてお互いの教育・文化に対する意識をより高め、理解することを目的に、平成 27 年（2015 年）1 月 26 日、27 日に台湾高雄市の 4 中学校と茅野市内の 4 中学校が姉妹校提携を行いました。

毎年 1 月には台湾の生徒たちが茅野市へ来て交流し、11 月には 3 泊 4 日の日程で茅野市の生徒 24 名が高雄市を訪れます。

交流事業は、生徒たちにとって、台湾の文化や学校事情を直接見聞できる貴重な体験です。

言葉は通じなくても、温かさや思いやりは言葉の壁を越え通じ合うことを実感し、台湾の生徒たちの語学力の高さに触れることにより英語学習の意欲が引き出されています。この交流事業を通じて生徒たちの世界観が広がっています。

◇高雄市の概要

位置：台湾南部に位置する都市。

面積：約 2952 km²（茅野市：約 266 km²）

人口：約 277.8 万人（茅野市：約 5.5 万人）

気候：冬季（最寒月）の平均気温が 18℃以上あり、
1 年間の平均気温は 28.8℃

標高：約 200m（茅野市：市街地の標高約 800m）

観光：高さ 378m の超高層ビルである東帝士 85 プラザビル、無数の露店が出る果物や B 級グルメを楽しめる六合夜市などがある。

産業：1966 年から加工輸出区が開業し、以後加工貿易の工業団地や重化学工業のコンビナートが集積する台湾随一の工業都市となった。



◇茅野市と高雄市姉妹校との提携の歩み

年・月	内 容
平成 24 年（2012 年） 11 月 1 日	長野県と台湾高雄市との間で「日本国長野県と台湾高雄市政府との観光・教育交流協力に関する覚書」を締結
平成 25 年（2013 年） 5 月 21 日	長野県の締結を受けて、茅野市長が高雄市を訪問し教育旅行の誘致を行う。その際に、台湾高雄市教育局から以下の提案があった。 ①相互の往来による交流を推進し、姉妹校提携を結んではどうか。 ②高校生に加え中学生の訪日教育旅行も推進していきたい。 この提案を受けて、中学生の交流について検討を始めた。
平成 25 年（2013 年） 12 月 18 日	茅野市議会において、中学生（16 名）を高雄市へ派遣することが議決された。
平成 26 年（2014 年） 2 月 10 日～2 月 13 日	市長を団長とした訪問団 23 名が台湾を訪問し、2 月 12 日に高雄市内五福国民中学、新興高級中学で交流を行った。
平成 26 年（2014 年） 2 月 18 日	長野県が主催する招聘事業で高雄市学校関係者が茅野市を訪問し、意見交換を行う。
平成 26 年（2014 年） 4 月 24 日～8 月 18 日	中学生台湾交流事業検討会（全 5 回） 市内 4 校が各 1 校との学校交流を通じて姉妹校締結を目指すことが確認された。
平成 26 年（2014 年） 6 月 23 日	高雄市を訪問して、8 月の茅野市の学校訪問及び英語の模擬授業の依頼を行う。茅野市訪問及び学校交流を検討しているとの話がある。
平成 26 年（2014 年） 8 月 24 日～8 月 25 日	新興高級中学（1 名）、五福国民中学（2 名）を招聘し、学校見学、模擬授業、意見交換会等を行う。平成 27 年（2015 年）1 月の茅野市訪問に向けて準備を進めているとの話があった。
平成 26 年（2014 年） 11 月 18 日～11 月 21 日	茅野市教育委員、学校関係者等が高雄市中学校、教育局を訪問。4 校との交流に向けての準備を進めることを確認する。
平成 26 年（2014 年） 12 月 31 日	平成 27 年（2015 年）1 月に、高雄市中学校 4 校の校長及び教育局担当者が来訪し 4 校との姉妹校締結をすることになった。
平成 27 年（2015 年） 1 月 26 日	新興高級中学＝東部中学校（26、27 日 台湾訪問団 65 名来訪） 五福国民中学＝長峰中学校 が姉妹校締結を行う。
平成 27 年（2015 年） 1 月 27 日	国昌国民中学＝永明中学校 光華国民中学＝北部中学校 が姉妹校締結を行う。

2 茅野市の課題

(1) 多文化共生のまちづくり

茅野市在住の外国籍市民は、出身国や言葉はもちろん文化的背景も多様です。そのため、多言語による相談体制の充実だけでは、外国籍市民の自立に対応できない状況です。今後は、現相談体制に加え、外国籍市民にとって理解しやすく簡単な日本語を指す「やさしい日本語」による案内や説明、相談体制が求められています。

(2) 国際交流推進の取組

国際交流の機会は、経済・文化・教育など社会の様々な場面に広がっています。また、国際的にも相互依存が深まる中、国際社会で活躍できる人材育成が求められています。こうした時代に対応し、国際的な視野を持ち、世界の人々と積極的にコミュニケーションができる人材を育成することが重要となっています。

(3) 関連団体との連携・関連団体への支援

国際化に関する様々な課題へ取り組むためには、国・県のほか、NPO法人や民間団体など、多文化共生社会の実現や国際交流推進のため活動する団体等と連携し、その活動を支援することで、多様な施策を推進していくことが求められています。



第3章 計画の基本的な考え方

1 基本理念

茅野市では、国際化に対応するための取組として、現在まで、外国籍市民に対する支援等の「多文化共生のまちづくり」と、国際感覚豊かな人材育成や国際理解を推進するため「国際交流」が行われてきました。

しかし、外国籍市民が自立した生活を送るためには、多くの課題が残されており、国際理解も一部に留まるのが現状です。このような中、国籍や文化の違いを超えて、市民がお互いを尊重し、対等な関係を築き、共に生きることができる社会を実現するための取組が求められています。

このことから、「心豊かな多文化共生社会の実現をめざす」を理念とし、「多文化共生」と「国際感覚豊かな人材育成」の2つの観点から、それぞれの推進のための取組を行います。取組を進めるにあたり、次の3つの基本目標を掲げ、目標達成のための施策に取り組みます。

2 基本目標

基本目標1 多文化共生のまちづくり

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていく、多文化共生のまちづくりを推進します。

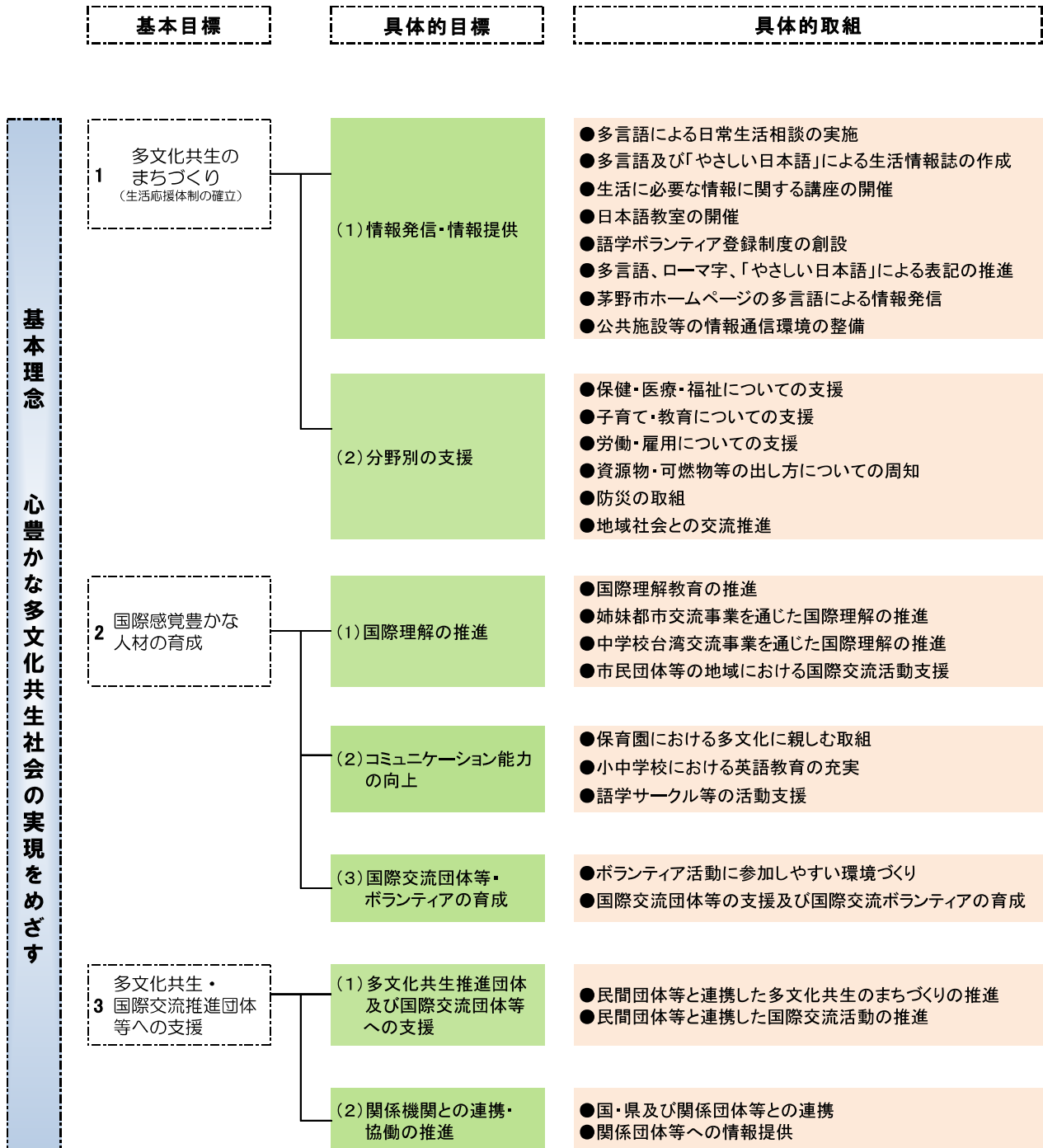
基本目標2 国際感覚豊かな人材の育成

国際交流事業等を通じ、外国の文化や習慣等の理解を促すとともに、外国語教育などによりコミュニケーション能力の向上を図り、国際的な視野を有した世界で活躍できる人材の育成に努めます。

基本目標3 多文化共生・国際交流推進団体への支援

国・県などの関係機関と連携を図り、多文化共生社会の実現や国際交流推進のため活動する団体等に情報や活動の場を提供します。

茅野市多文化共生・国際交流推進計画の体系



第4章 計画の具体的な取組

基本目標 1 多文化共生のまちづくり（生活応援体制の確立）

具体的目標（1）情報発信・情報提供

茅野市で生活する外国籍市民が自立した生活を送れるように、多言語に加えて「やさしい日本語」による情報発信を行います。

また観光等で訪れた外国人も利用できるように、様々な情報を多言語により発信します。

具体的取組	実施状況	担当課
生活上の様々な問題を解決するため、多言語（英語・ポルトガル語・タガログ語・中国語、日本語）による日常生活相談を実施します。	実施	生涯学習課
生活情報誌を多言語（英語・ポルトガル語・タガログ語・中国語・韓国語）で作成し配布します。	実施	生涯学習課
生活情報誌を「やさしい日本語」で作成し配布します。	実施	生涯学習課
生活に必要な情報に関する講座を開催します。	実施	生涯学習課 中央公民館
日本語習得を目的とした日本語教室を開催します。	実施	生涯学習課
茅野市や民間団体が実施する日本語教室等の日本語習得の機会を周知します。	実施	生涯学習課
語学ボランティア登録制度を創設します。	検討	生涯学習課
公共施設等の案内板等を多言語により表記します。	実施	管理課 施設所管課
公共施設等の案内板等をローマ字、「やさしい日本語」により表記します。	検討	管理課 施設所管課
市内観光地における案内板等を多言語、ローマ字により表記します。	実施	観光課

具体的取組	実施状況	担当課
市内観光地における案内板等を「やさしい日本語」により表記します。	検討	観光課
茅野市ホームページにおいて、多言語（英語・ポルトガル語・タガログ語・中国語・韓国語）による情報発信を行います。	実施	地域戦略課
公共施設において、公衆無線LANなど情報通信環境の整備を行います。	実施	地域戦略課
市内において、無線LANスポットなど情報通信環境の整備を行います。	実施	観光課

具体的目標（２）分野別の支援

①保健・医療・福祉について

毎日の生活の中で、健康や生活に密接する様々な制度を知ることは大切なことです。そのため、各種健診等のお知らせや国民健康保険、児童手当等の福祉制度について分かりやすく伝えることが求められています。

具体的取組	実施状況	担当課
多言語による諏訪中央病院内の案内パンフレットを作成します。	実施	高齢者・保険課
福祉医療費給付金受給について、案内等を多言語により作成します。	実施	高齢者・保険課
福祉医療費給付金受給について、案内等を「やさしい日本語」により作成します。	検討	高齢者・保険課
国民健康保険加入について、案内及び窓口申請書を多言語により作成します。	実施	高齢者・保険課
国民健康保険加入について、案内及び窓口申請書を「やさしい日本語」により作成します。	検討	高齢者・保険課
健診・検診・健康相談を実施します。	実施	健康づくり推進課
健診・検診の案内等を多言語により作成します。	実施	健康づくり推進課
健診・検診の案内等を「やさしい日本語」により作成します。	実施	健康づくり推進課
児童手当、児童扶養手当の案内や申請書類を４か国語（英語・ポルトガル語・タガログ語・中国語）で作成します。	実施	こども課

②子育て・教育について

外国籍の子どもにとって、保育園や学校等に馴染み、授業等を理解するためには、日本語の習得が必要です。外国籍の子どもの中には、言葉の壁からコミュニケーションがうまく取れず、不安を抱えている子どもも少なくないため、支援が求められています。

具体的取組	実施状況	担当課
外国籍の子どもや家庭の状況に配慮し、それぞれの文化を尊重しながら、共に過ごすことを楽しめる支援を行います。	実施	幼児教育課
教師に対して、外国籍の子どもを受入れするために必要な情報提供やサポートを行います。	実施	学校教育課
日本語が分からない外国籍児童に対し、学校生活のルールや習慣について個別指導を行います。	実施	学校教育課
外国籍の子どもとその家庭をサポートするため、家庭児童相談員が相談を行います。	実施	こども課

③労働・雇用について

市内には多くの外国籍市民が生活し市内事業所等で働いています。

外国籍労働者や外国籍労働者を雇用している事業所に対して、相談窓口の案内や、情報提供を行います。

具体的取組	実施状況	担当課
茅野市の開催する外国籍市民相談において、多文化共生推進員が相談に応じます。また、相談内容に応じて、関係窓口を案内します。	実施	商工課 生涯学習課

④資源物・可燃物等の出し方について

ごみの問題は、近所とのトラブルの原因になりかねません。気持ちよく生活するためにごみの正しい出し方について周知します。

具体的取組	実施状況	担当課
ごみステーションの案内看板を必要に応じて多言語（英語・ポルトガル語・タガログ語・中国語・韓国語）により作成します。	実施	美サイクルセンター

具体的取組	実施状況	担当課
ごみステーションの案内看板を必要に応じて「やさしい日本語」により作成します。	実施	美サイクルセンター
ごみの出し方パンフレットを多言語（英語・ポルトガル語・タガログ語・中国語・韓国語）により作成します。	実施	美サイクルセンター
ごみの出し方のパンフレットを「やさしい日本語」により作成します。	実施	美サイクルセンター

⑤ 防災の取組について

東日本大震災等の教訓を踏まえ、防災対策や防災情報の提供を推進します。

具体的取組	実施状況	担当課
多言語で作成した防災ガイド及び防災カードによる対策や情報を提供します。	実施	防災課
「やさしい日本語」で作成した防災ガイド及び防災カードによる対策や情報を提供します。	実施	防災課

⑥ 地域社会との交流推進について

地域の中で、長く暮らしていくためには、外国籍市民も身近な地域活動へ参加し、地域の人と交流することが大切です。

具体的取組	実施状況	担当課
地域活動について理解や参加を促すために情報提供を行います。	検討	生涯学習課

数値目標

項目	現状 2017 年度	2022 年度	2027 年度
市役所窓口における申請書等のルビ振りや「やさしい日本語」による作成状況の割合	5 %	20 %	40 %
日本語教室への参加者年間延数	224 人	288 人	360 人
語学ボランティア登録者数	—	5 人	10 人

基本目標 2 国際感覚豊かな人材の育成

具体的目標（１）国際理解の推進

国際社会に対応するため、多様な文化や国際情勢への理解を深めることが重要であり、外国の文化・習慣等を学ぶ機会や異文化に触れる機会を提供することにより、市民の国際理解を推進します。

具体的取組	実施状況	担当課
茅野市が推進する国際交流事業等を通じ、児童・生徒が異文化に触れ、他国を理解する機会を提供します。	実施	学校教育課 生涯学習課
姉妹都市ロングモント市とのホームステイ交流事業を通じ、姉妹都市間の交流を深めます。 国際感覚を養い、広い視野を持つ人材の育成を目的とし、中学生及び高校生をロングモント市へ派遣します。また、ロングモント市からの受入れにおいては、茅野市の児童生徒の国際感覚を養うため、ロングモント市の学生が保育園や学校を訪問し、交流します。	実施	生涯学習課
姉妹校提携を結ぶ台湾高雄市の中学生と両市の教育・文化に対する意識をより高め、理解することを目的に、学校交流事業を行います。	実施	学校教育課
地域の国際交流活動の推進を目的としNPO法人や市民団体等を支援します。	検討	生涯学習課

具体的目標（２）コミュニケーション能力の向上

世界の人々と交流するためには、外国語の語学力や自己表現の能力等が必要であり、学校・社会における外国語教育を充実するとともに、コミュニケーション能力の育成を図ります。

具体的取組	実施状況	担当課
保育の中に様々な国の絵本、手遊び、歌、体操を取り入れたり、外国籍の保護者等との交流を通じ、外国語に触れる機会をつくります。	実施	幼児教育課

具体的取組	実施状況	担当課
英語の授業（小・中学校）において、外国語指導助手とのチーム・ティーチング※5の機会を確保し、児童生徒が生きた英語に触れることができるようにします。	実施	学校教育課
語学サークル等の活動に対する場所提供等の支援を行います。	実施	中央公民館

※5 チーム・ティーチング：複数の教員が役割を分担し、協力し合いながら指導計画を立て指導する方式のこと。

具体的目標（３）国際交流団体等・ボランティアの育成

地域における様々な国際化を推進するためには、国際交流活動の担い手となる団体やボランティアの役割は重要であり、人材の育成等に努めます。

具体的取組	実施状況	担当課
ボランティア活動に参加しやすい環境づくりに努めます。	検討	生涯学習課
国際交流団体や個人の活動を支援し、国際交流ボランティアの育成に努めます。	検討	生涯学習課

数値目標

項目	現状 2017 年度	2022 年度	2027 年度
茅野市・ロングモント市ホームステイ交流事業参加者及び協力者数※1	71 人	80 人	80 人
中学校台湾交流事業参加者数※2	900 人	1,200 人	1,200 人

※1 茅野市・ロングモント市ホームステイ交流事業参加者及び協力者数：

この項目における人数は、ロングモント市への派遣者及びロングモント市からの来訪者、茅野市におけるホストファミリー、事業を委託しているNPO法人茅野国際クラブのうち事業に関係したメンバーの合計です。

※2 中学校台湾交流事業参加者数：

この項目における人数は、台湾高雄市への訪問者及び台湾高雄市からの来訪者、茅野市において交流事業に関わる生徒数、台湾高雄市におけるホームステイに関わる保護者数の合計です。

基本目標 3 多文化共生推進・国際交流団体等への支援

具体的目標（１）多文化共生推進団体等及び国際交流団体等への支援

多文化共生のまちづくりや国際交流活動を推進するためには、民間の活動が大変重要な役割を果たしています。そのため、NPO法人や民間団体等の国際交流活動を支援します。

具体的取組	実施状況	担当課
NPO法人や民間団体等と連携した多文化共生のまちづくりを推進します。	実施	生涯学習課
NPO法人や民間団体等と連携した国際交流活動を推進します。	実施	生涯学習課

具体的目標（２）関係機関との連携・協働の推進

外国籍市民の抱える課題を解決するためには、支援が必要な分野が多岐に渡ります。そのため、国・県及び関係団体等と連携し課題解決に努めます。また、関係団体等への情報提供に努めます。

具体的取組	実施状況	担当課
国・県及び関係団体等と連携し、外国籍市民の抱える課題の解決に努めます。	検討	生涯学習課
関係団体等への情報提供に努めます。	検討	生涯学習課

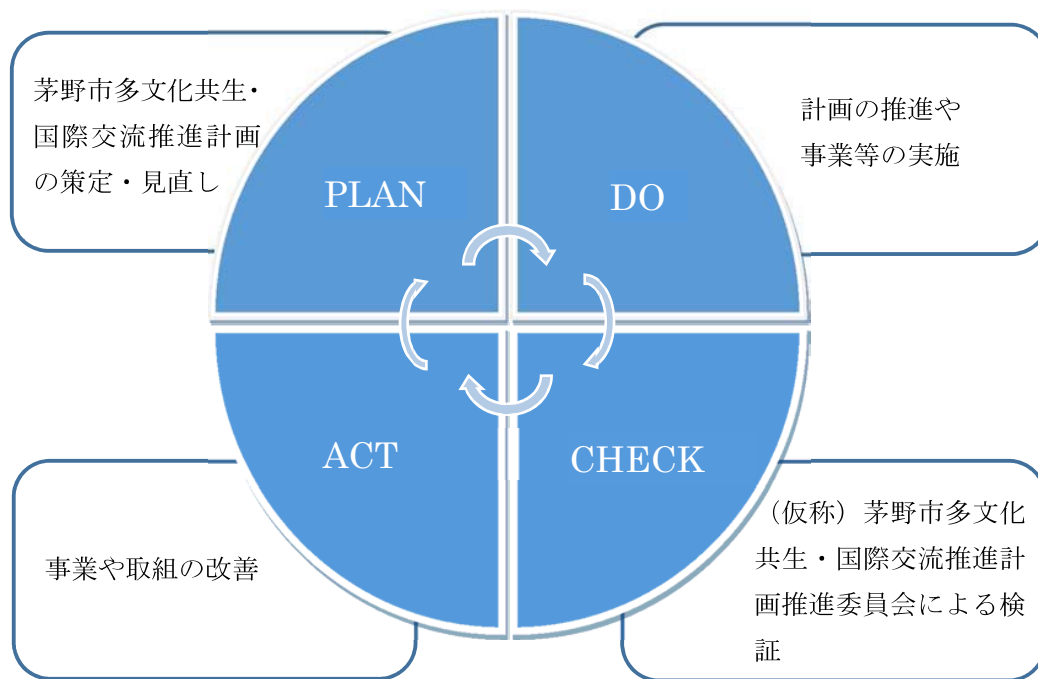
数値目標

項目	現状 2017 年度	2022 年度	2027 年度
関係団体等と連携した、多文化共生・国際交流推進のための講座等開催数	—	1 件	2 件

第5章 計画の進行管理

茅野市多文化共生・国際交流推進計画の進行管理については、各部局の事務事業評価や市民アンケート調査等により数値目標の達成状況を確認し、(仮称)茅野市多文化共生・国際交流推進委員会で検証します。

「計画 (PLAN)→実施 (DO) →評価・検証 (CHECK) →改善・見直し (ACT) →計画 (PLAN)」のマネジメントサイクルに基づき、継続的な施策・事業の改善・見直しを行いながら、効果的な計画の推進を図ります。



関 係 資 料

目次

1	平成29年度（2017年度）外国籍市民アンケート結果.....	23
2	茅野市役所窓口における申請書等の外国語説明書の作成状況	34
3	茅野市多文化共生・国際交流推進計画 策定経過.....	35
4	茅野市多文化共生・国際交流推進計画策定委員会 委員名簿	36

平成 29 年度（2017 年度）外国籍市民アンケート 結果

茅野市 生涯学習課

1 調査の目的

市内に居住する外国籍市民の実態について把握し、今後の施策の参考にするため。

2 調査の実施

（1）調査期間

平成 29 年（2017 年）6 月～平成 29 年（2017 年）12 月

（2）調査対象

茅野市に住民登録されている 18 歳以上の外国籍市民 722 人

※年齢は、平成 29 年（2017 年）4 月 1 日現在

（3）調査方法

多文化共生推進員が住所に赴き聞き取りにより調査する。

なお、調査に先立ち個別通知により周知を行った。

（4）回答率

ア 調査対象外国籍市民 722 人

うち、	
・ 調査訪問時不在者	77 人
・ 調査時転出者等	96 人

イ 回答人数 273 人

ウ 回答率 38%

3 調査結果

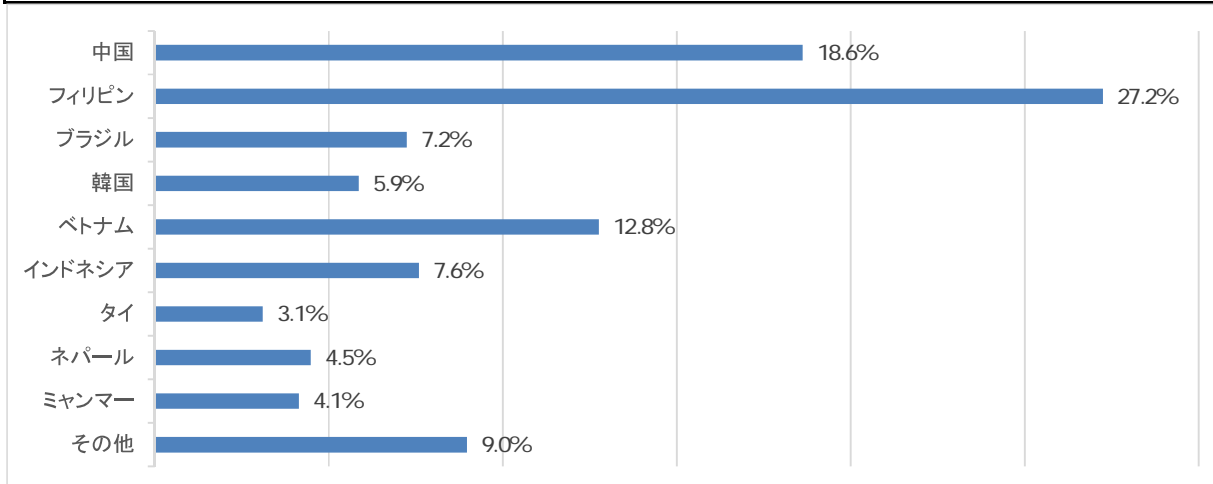
別添（次頁以降）参照

なお、調査結果は、対象者から直接聞き取りができた方の回答に基づき作成しています。そのため、外国籍市民数等他の茅野市の統計とは必ずしも一致しません。

平成29年度(2017年度) 外国籍市民アンケート

A) 国籍

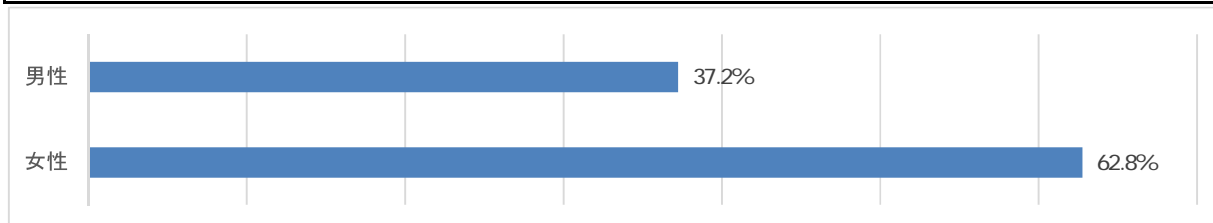
- ①中国 ②フィリピン ③ブラジル ④韓国 ⑤ベトナム
⑥インドネシア ⑦タイ ⑧ネパール ⑨ミャンマー ⑩その他



回答者の国籍は、「フィリピン」が27.2%と最も多く、次いで「中国」が18.6%となっている。

B) 性別

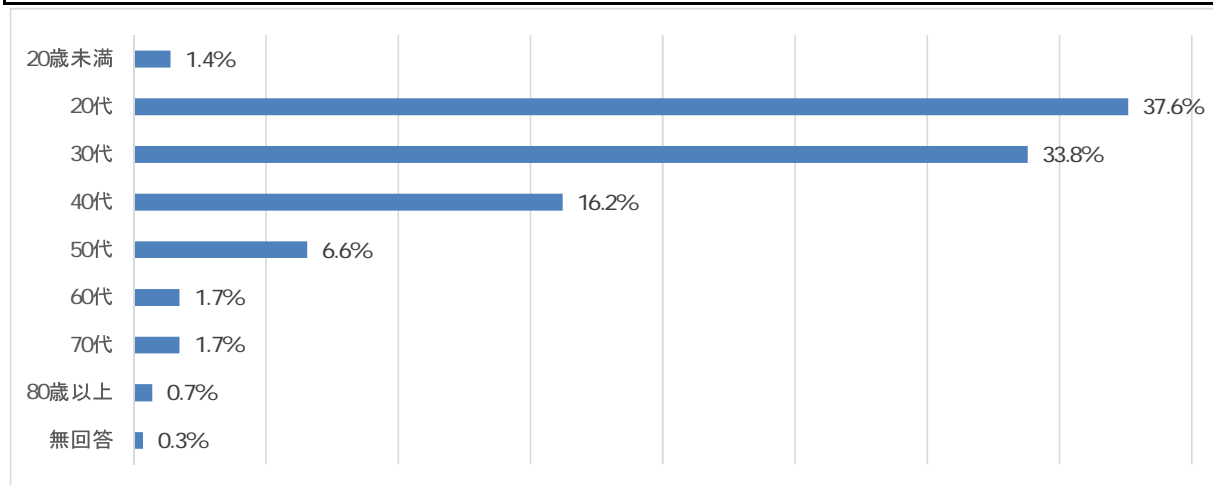
- ①男性 ②女性



回答者の性別は、「男性」が37.2%、「女性」が62.8%となっている。

C) 年齢

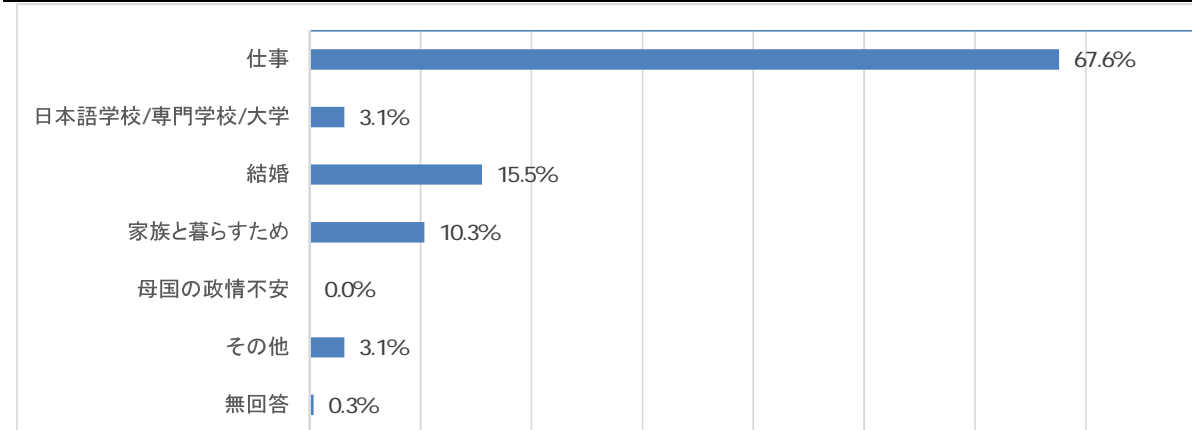
- ①20歳未満 ②20代 ③30代 ④40代
⑤50代 ⑥60代 ⑦70代 ⑧80歳以上



回答者の年齢は、「20代」が37.6%と最も多く、次いで「30代」が33.8%となっている。

D) 日本に来た目的

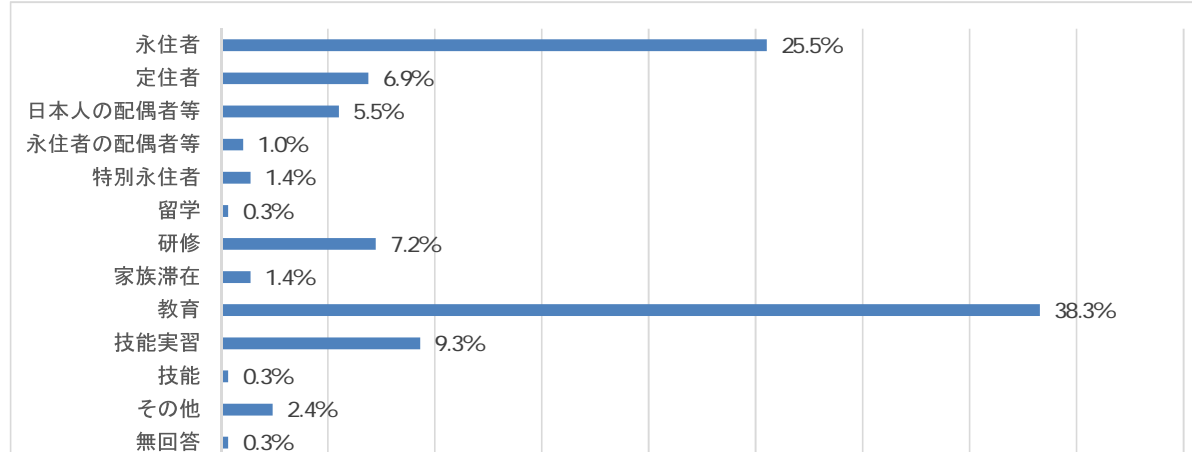
- ①仕事 ②日本語学校/専門学校/大学 ③結婚
④家族と暮らすため ⑤母国の政情不安 ⑥その他



回答者の目的は、「仕事」が67.6%で最も多く、次いで「結婚」が15.5%となっている。

E) 在留資格(ビザの有効期限を確認)

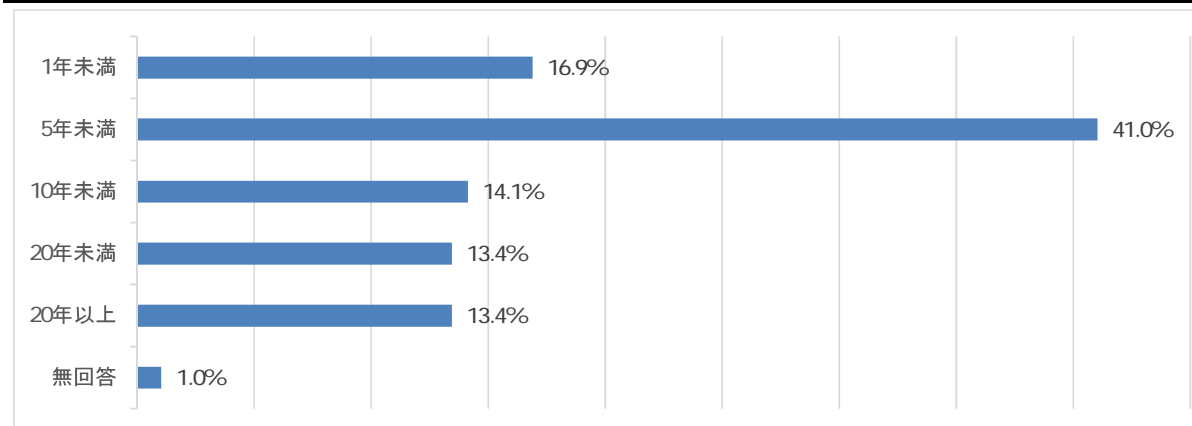
- ①永住者 ②定住者 ③日本人の配偶者等 ④永住者の配偶者等 ⑤特別永住者
⑥留学 ⑦研修 ⑧家族滞在 ⑨教育 ⑩技能実習
⑪技能 ⑫興業 ⑬その他



回答者の在留資格で、「教育」が38.3%で最も多く、次いで「永住者」が25.5%となっている。

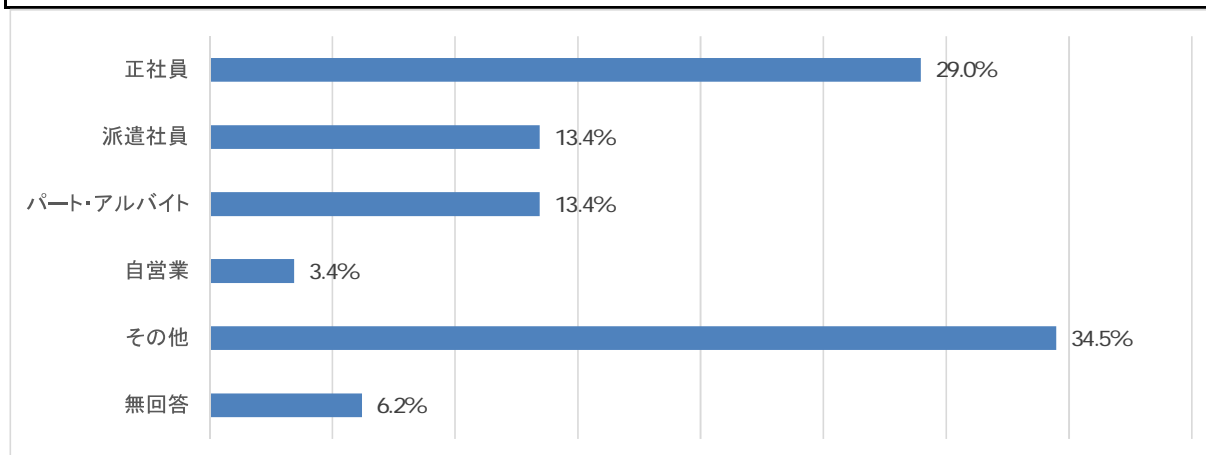
F) 滞在年数

- ①1年未満 ②5年未満 ③10年未満 ④20年未満 ⑤20年以上



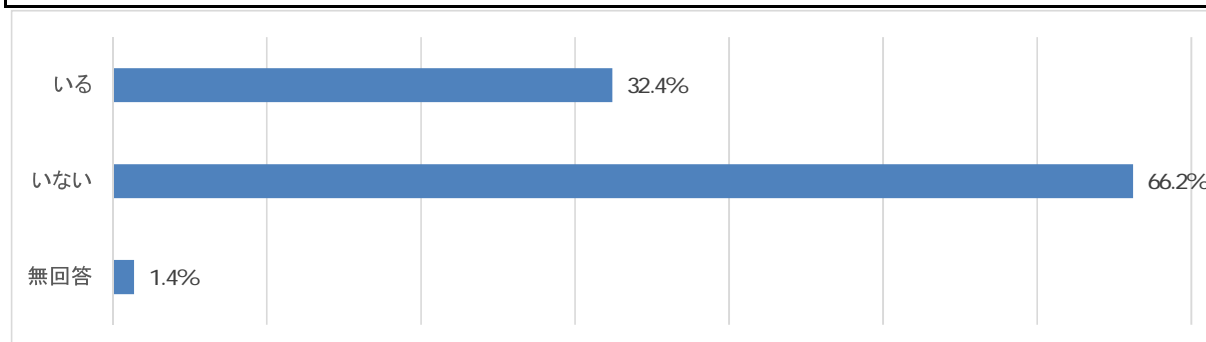
回答者の滞在年数は、「5年未満」が41.0%で最も多く、次いで「1年未満」が16.9%となっている。

G) 雇用形態
①正社員 ②派遣社員 ③パート/アルバイト ④自営業 ⑤その他



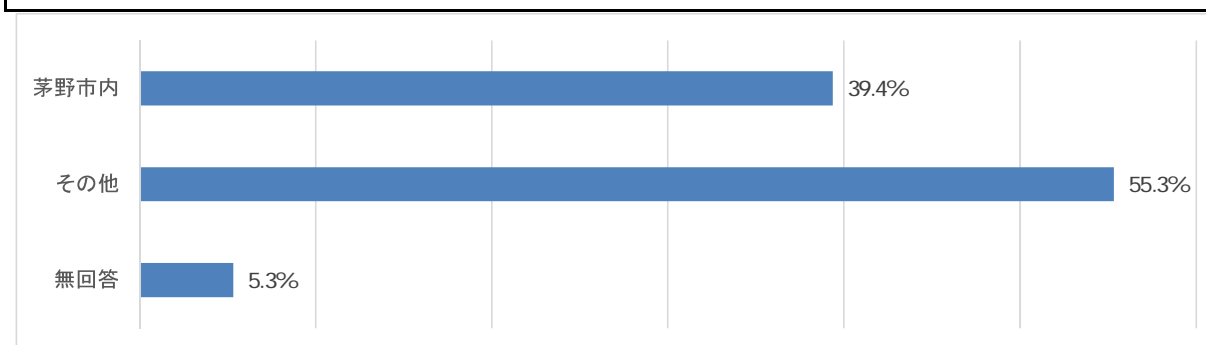
回答者の雇用形態は、「その他」が34.5%で最も多く、その他の81%は在留資格が「技能実習」となっている。

K) 日本で生活している親族
①いる ②いない



日本で生活している親族が「いる」が32.4%、「いない」が66.2%となっている。

K) 日本で生活している親族がいる場合の親族の居住地
①茅野市内 ②その他



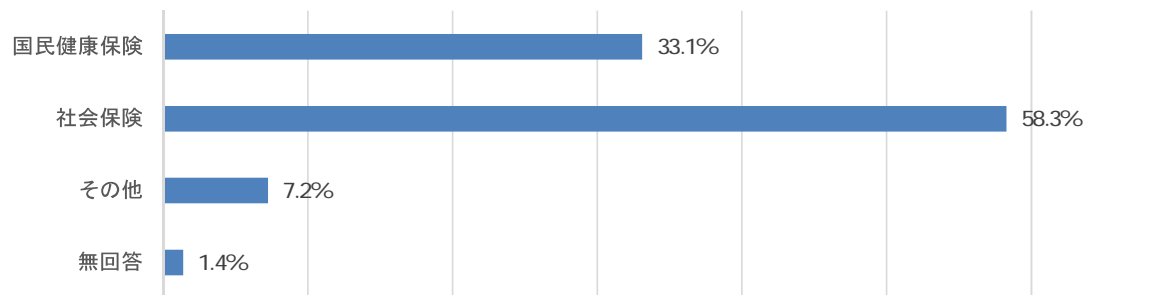
日本で生活している親族の居住地としては、「茅野市内」が39.4%、「その他」が55.3%となっている。

L) 健康保険

①国民健康保険

②社会保険

③その他



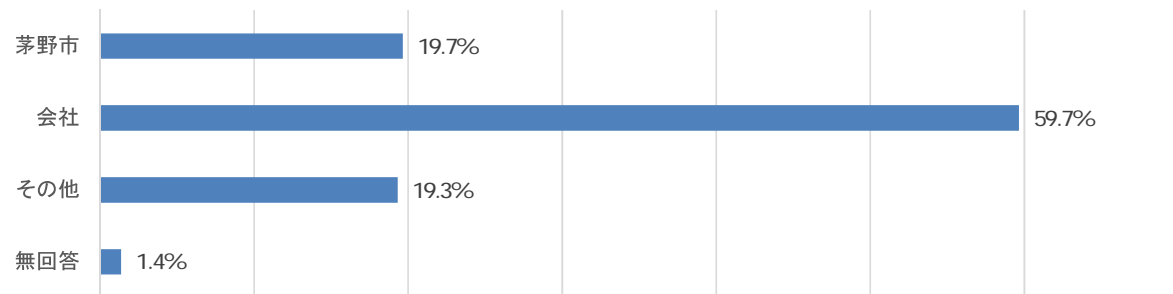
回答者の健康保険は、「社会保険」が58.3%と最も多く、次いで「国民健康保険」が33.1%となっている。

M) 健康診断

①茅野市

②会社

③その他

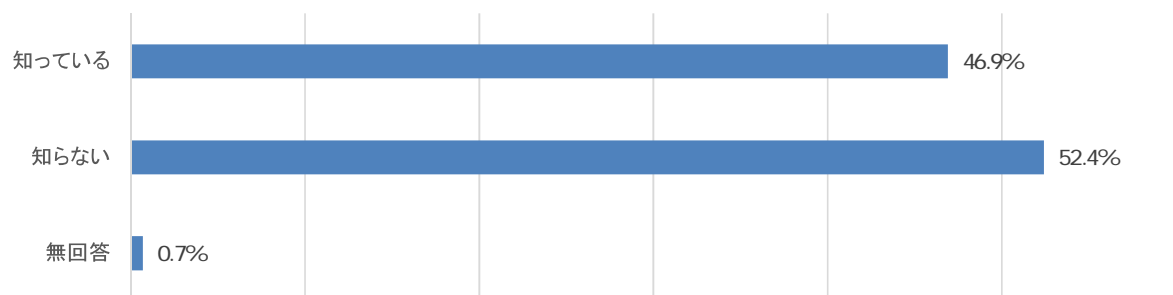


健康診断の実施状況では、「会社」が59.7%と最も多く、次いで「茅野市」が19.7%となっている。

N) 災害時の避難場所

①知っている

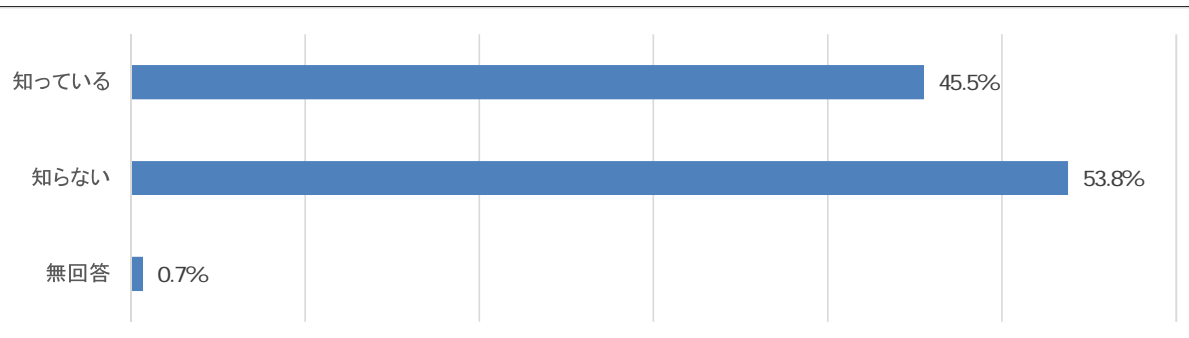
②知らない



災害時の避難場所を「知っている」が46.9%、「知らない」が52.4%となっている。

O) 災害時の情報収集方法

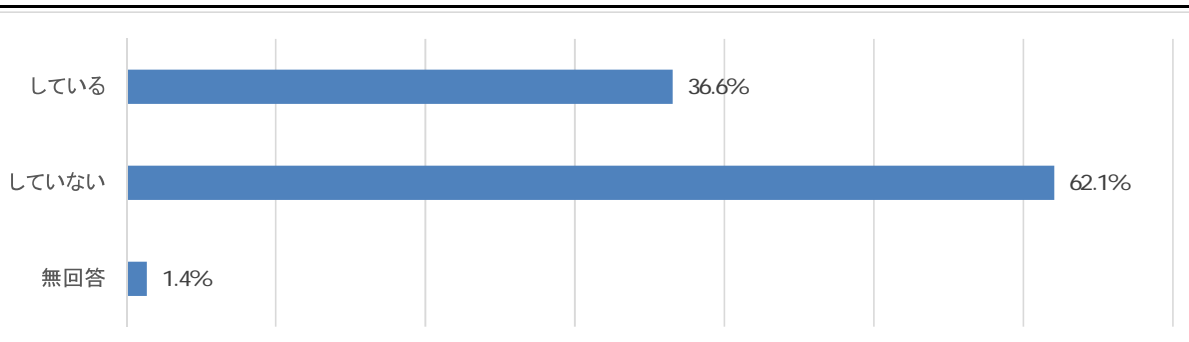
①知っている ②知らない



災害時の情報収集方法を「知っている」が45.5%、「知らない」が53.8%となっている。

P) 災害時の対策をしていますか

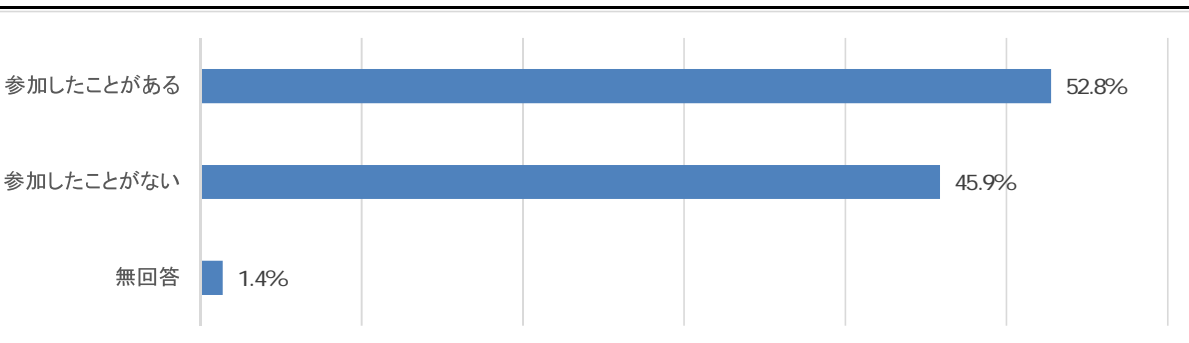
①している ②していない



災害時の対策を「している」が36.6%、「していない」が62.1%となっている。

Q) 地域の祭りや行事に参加したことがありますか

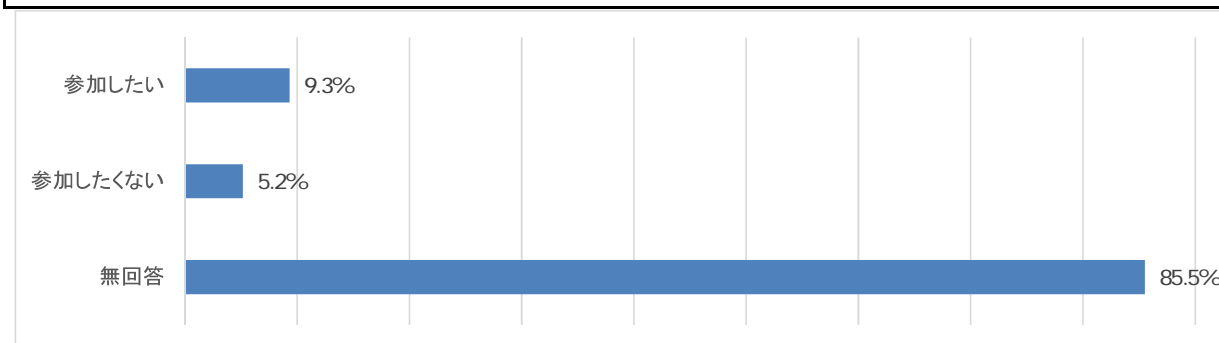
①ある ②ない



地域の祭りや行事への参加状況は、「参加したことがある」が52.8%、「参加したことがない」は45.9%となっている。

Q) 地域の祭りや行事に参加したことがない場合参加したいかどうか

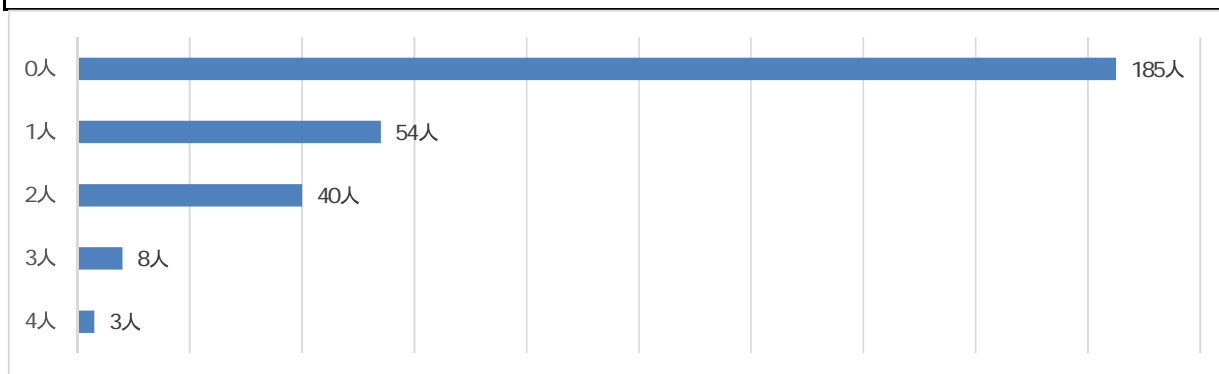
①参加したい ②参加したくない



地域の祭りや行事に参加したことがない人の中で、「参加したい」は9.3%、「参加したくない」は5.2%、「無回答」は85.5%となっている。

R) 子どもの人数

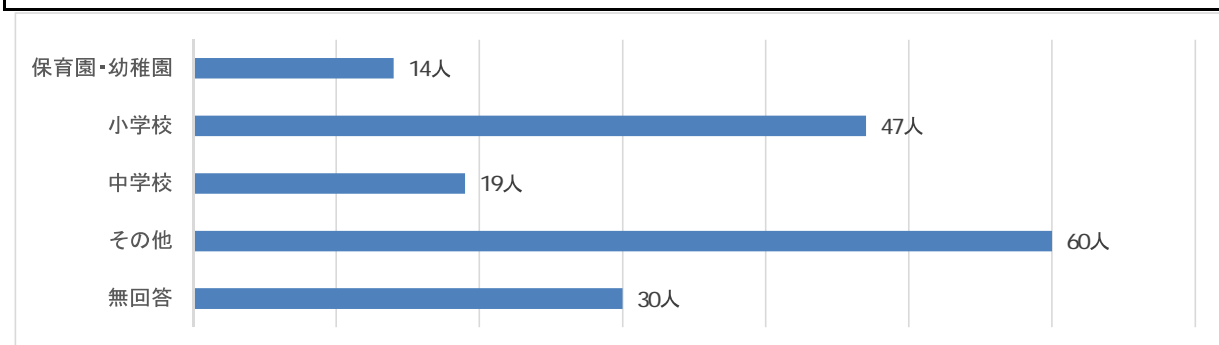
①0人 ②1人 ③2人 ④3人 ⑤4人



子どもの人数は、「0人」が185人と最も多く、次いで「1人」は54人、「2人」は40人となっている。上記までの結果から、「20代」「30代」で「仕事」という目的で茅野市に来ていることが多いと思われる。

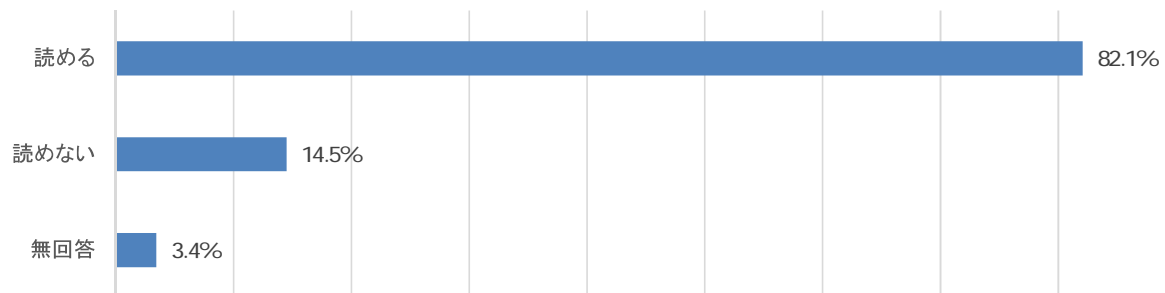
R) 子ども

①保育園・幼稚園 ②小学校 ③中学校 ④その他



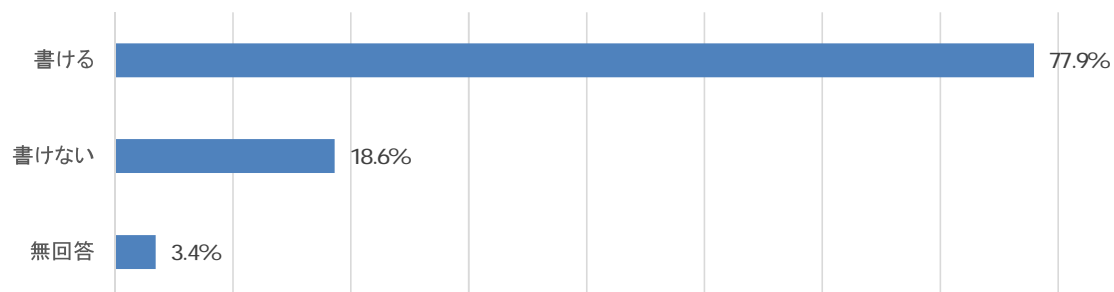
子どもの年代としては、「その他」が60人と最も多く、次いで「小学校」が47人となっている。

S) 日本語能力 1 ひらがな
①読める ②読めない



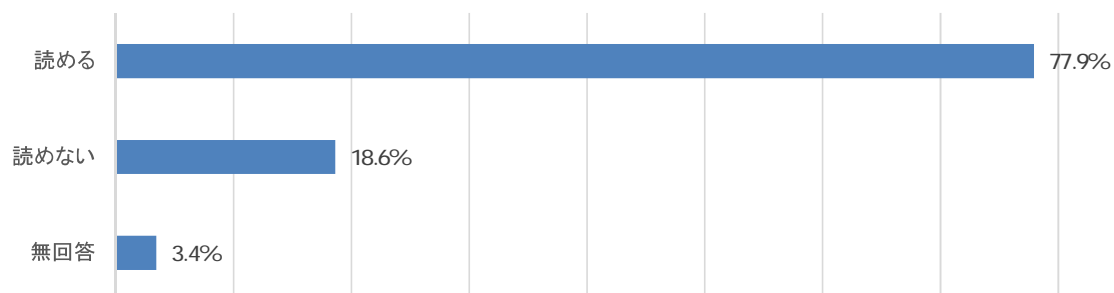
日本語能力で、ひらがなが「読める」は82.1%、「読めない」は14.5%となっている。

S) 日本語能力 1 ひらがな
①書ける ②書けない



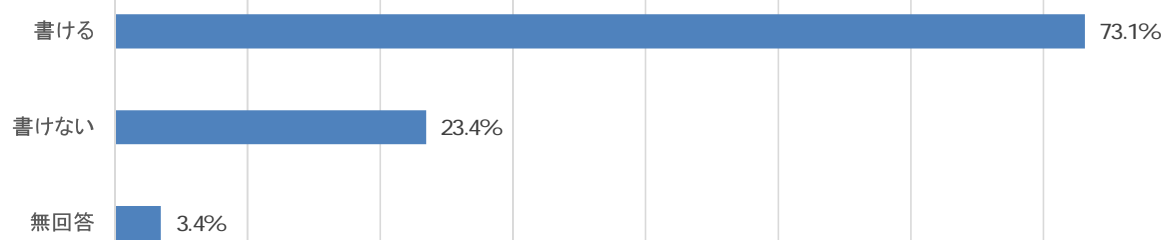
日本語能力で、ひらがなが「書ける」は77.9%、「書けない」は18.6%となっている。

S) 日本語能力 2 カタカナ
①読める ②読めない



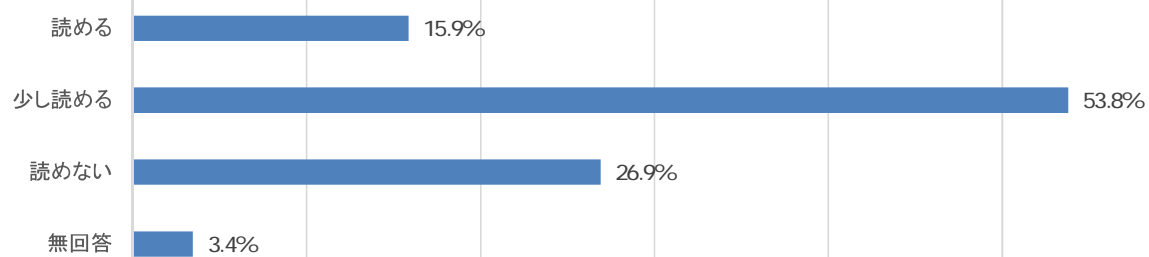
日本語能力で、カタカナが「読める」は77.9%、「読めない」は18.6%となっている。

S) 日本語能力 2 カタカナ
①書ける ②書けない



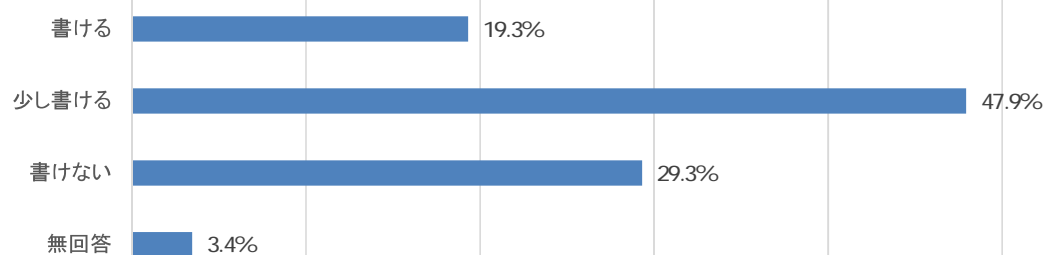
日本語能力で、カタカナが「書ける」は73.1%、「書けない」は23.4%となっている。

S) 日本語能力 3 漢字
①読める ②少し読める ③読めない



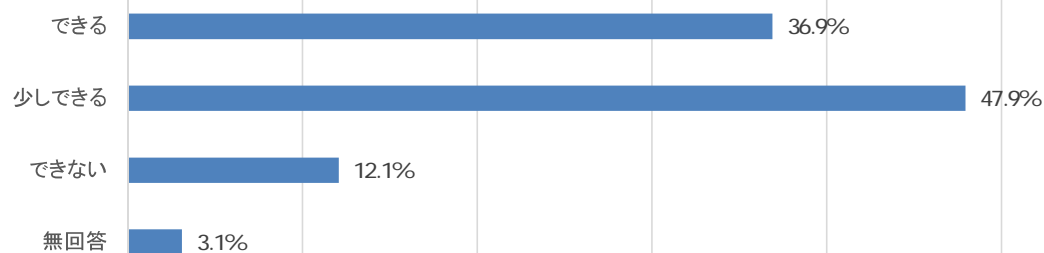
日本語能力で、漢字が「読める」は15.9%、「少し読める」は53.8%、「読めない」は26.9%となっている。

S) 日本語能力 3 漢字
①書ける ②少し書ける ③書けない



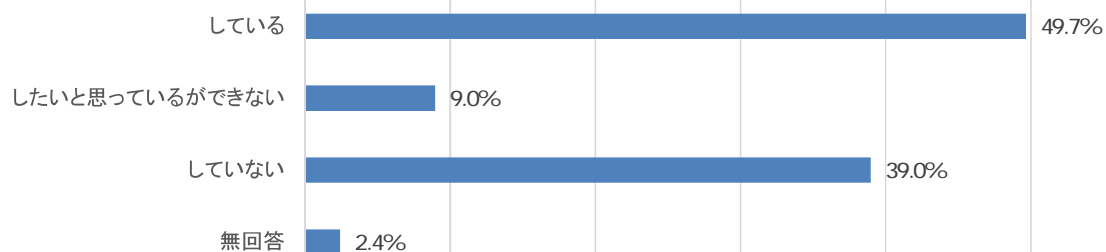
日本語能力で、漢字が「書ける」は19.3%、「少し書ける」は47.9%、「書けない」は29.3%となっている。ひらがな及びカタカナは約8割が読み書きできるという回答であったが、漢字になると約7割と少し減少している。

S) 日本語能力 4 会話
①できる ②少しできる ③できない



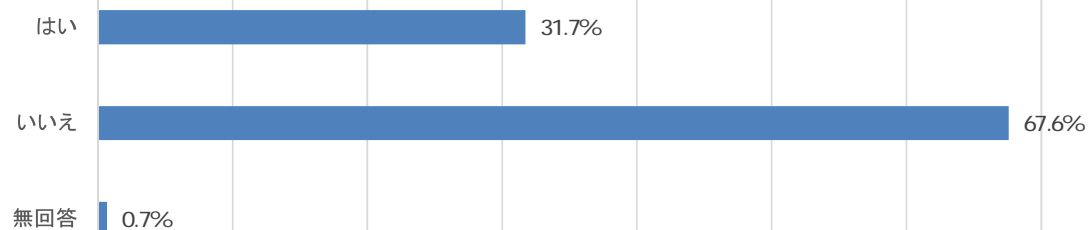
日本語能力で、会話が「できる」は36.9%、「少しできる」は47.9%、「できない」は12.1%となっている。

T) 日本語学習
①している ②したいと思っているができない ③していない



日本語学習を「している」は49.7%、「したいと思っているができない」は9.0%、「していない」は39.0%となっている。

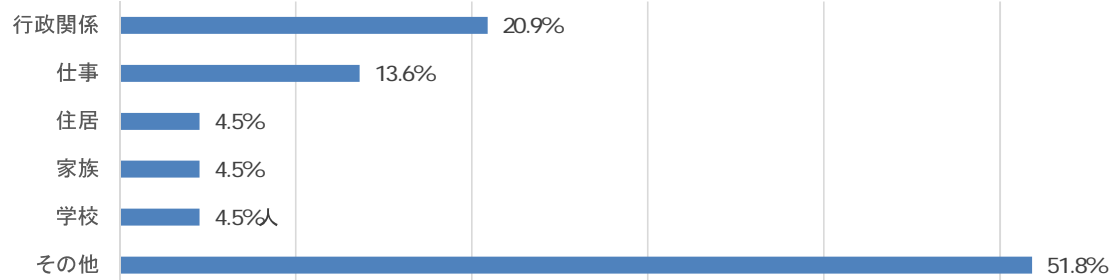
U) 日本での生活で困っていることはありますか
①はい ②いいえ



日本での生活で困っていることがありますかへの回答では、「はい」は31.7%、「いいえ」は67.6%となっている。

U) 日本での生活で困っていることがある場合の内容

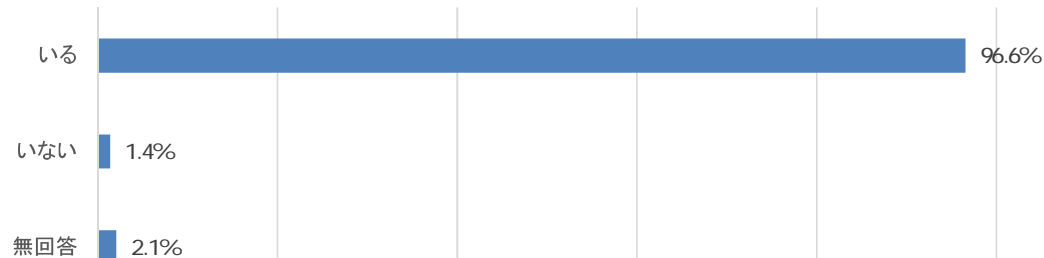
①行政関係 ②仕事 ③住居 ④家族 ⑤学校 ⑥その他



日本での生活で困っていることの内容として、「行政関係」は20.9%、次いで「仕事」は13.6%となっている。「その他」は51.8%となっているが、その中身としては日本語の勉強に関することが多くなっている。

V) 相談者

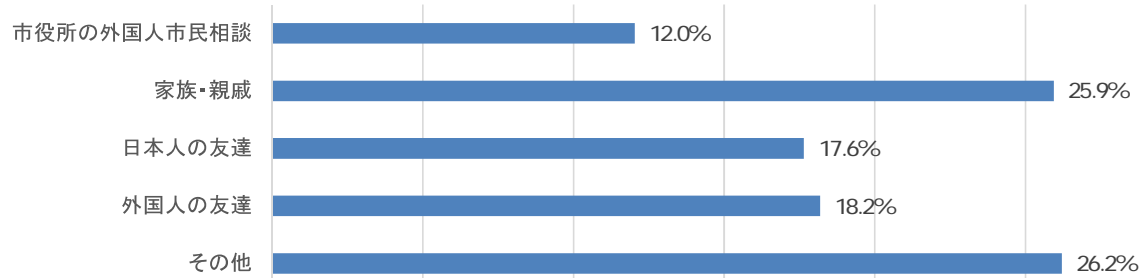
①いる ②いない



相談者が「いる」は96.6%、「いない」は1.4%となっている。

V) 相談者

①市役所の外国人市民相談 ②家族/親戚 ③日本人の友達
④外国人の友達 ⑤その他



相談者の内訳として、「家族・親戚」は25.9%、次いで「外国人の友達」は18.2%となっている。

茅野市役所窓口における申請書等の外国語説明書

作成書類
<ul style="list-style-type: none"> ・外国籍市民のための相談窓口案内カード（英語、ポルトガル語、タガログ語、中国語） ・国保手続きの手順（英語） ・国保税の案内・異動届（英語、ポルトガル語、タガログ語、中国語、韓国語） ・母子健康手帳（英語、ポルトガル語、タガログ語、中国語、韓国語、インドネシア語、スペイン語、タイ語） ・予防接種と乳幼児健診手帳（英語、ポルトガル語、タガログ語、中国語、韓国語） ・大人の検診・健診のご案内（英語、ポルトガル語、タガログ語、中国語、韓国語） ・福祉医療費給付金の受給（英語、ポルトガル語、タガログ語、中国語） ・栄養指導パンフレット（英語、ポルトガル語、タガログ語、中国語） ・保育園とは（ポルトガル語、タガログ語） ・保育所入所申込みに必要な書類入（ポルトガル語、タガログ語） ・入園までに準備しておくもの0, 1歳時・2歳時・3, 4, 5歳時（ポルトガル語、タガログ語） ・学校伝染病と出席停止期間について（ポルトガル語、タガログ語） ・市内保育園一覧（ポルトガル語、タガログ語） ・おやすみ館の利用案内（ポルトガル語、タガログ語） ・0 1 2 3広場パンフレット・利用者受付表（英語、ポルトガル語、タガログ語、中国語） ・児童扶養手当リーフレット（英語、ポルトガル語、タガログ語、中国語） ・児童手当、児童扶養手当案内・申請書等（英語、ポルトガル語、タガログ語、中国語） ・共済給付制度のお知らせ（英語、ポルトガル語、タガログ語、中国語、韓国語、スペイン語） ・学童クラブ募集案内、申請書、就学援助制度等（ポルトガル語） ・学童クラブお知らせ、入所案内、入所手続、入所希望調書、利用可否決定通知書、利用中止届、減免申請書、就労証明書（ポルトガル語） ・手作り弁当の日案内文（英語、ポルトガル語） ・就学援助制度（ポルトガル語） ・納税者の皆さんへ（同封文書）（英語、ポルトガル語、中国語） ・納税催告書（英語、ポルトガル語、タガログ語、中国語） ・水道料金一覧表、使用開始・休止届（英語、ポルトガル語、タガログ語、中国語） ・水道漏水・停止案内（英語、ポルトガル語、タガログ語、中国語） ・防災ガイド・防災カード（英語、ポルトガル語、タガログ語、中国語、韓国語、スペイン語） ・生活保護のしおり（英語、ポルトガル語、タガログ語、中国語、スペイン語） ・尖石縄文考古館案内リーフレット（英語、中国語、台湾語） ・八ヶ岳総合博物館リーフレット（英語） ・図書館利用案内、パンフレット（英語） ・茅野市観光パンフレット（英語、中国語、韓国語） ・ごみの出し方（英語、ポルトガル語、タガログ語、中国語、韓国語）

茅野市多文化共生・国際交流推進計画策定の経過

月 日	会議名等	内 容
2017年5月18日	茅野市多文化共生・国際交流推進計画策定委員会	・外国籍市民アンケートの内容について
2017年6月15日	茅野市多文化共生・国際交流推進計画策定委員会	・外国籍市民アンケートの内容について
2017年6月～ 2017年12月		・外国籍市民アンケート 実施
2017年10月19日	茅野市多文化共生・国際交流推進計画策定委員会	・茅野市多文化共生・国際交流推進計画（案）について
2017年11月16日	茅野市多文化共生・国際交流推進計画策定委員会	・茅野市多文化共生・国際交流推進計画（案）について
2017年11月～ 2017年12月		・外国籍市民アンケート集計
2017年12月13日	茅野市多文化共生・国際交流推進計画策定委員会	・茅野市多文化共生・国際交流推進計画（案）について
2017年12月21日	茅野市多文化共生・国際交流推進計画策定委員会	・外国籍市民アンケート結果について ・茅野市多文化共生・国際交流推進計画（案）について
2018年1月18日	茅野市多文化共生・国際交流推進計画策定委員会	・茅野市多文化共生・国際交流推進計画（案）について
2018年1月31日	地域経営会議	・茅野市多文化共生・国際交流推進計画（案）についての報告
2018年2月5日	市議会全員協議会	・茅野市多文化共生・国際交流推進計画（案）についての報告
2018年2月5日～ 2018年3月2日	パブリックコメント	・意見 1 件
2018年3月15日	茅野市多文化共生・国際交流推進計画策定委員会	・茅野市多文化共生・国際交流推進計画（案）について パブリックコメント意見報告
2018年3月26日		・茅野市多文化共生・国際交流推進計画（案）について パブリックコメント意見公表
2018年3月28日		・茅野市多文化共生・国際交流推進計画決定

茅野市多文化共生・国際交流推進計画策定委員会

策定委員

No.	氏名	所属・職名
1	岡元 春美	茅野市多文化共生推進員（担当言語:全般）
2	王 崇 娟	茅野市多文化共生推進員（担当言語:中国語）
3	小池 美樹 ルシア	茅野市多文化共生推進員（担当言語:ポルトガル語）
4	小平 エリザベス	茅野市多文化共生推進員（担当言語:タガログ語）
5	嘉瀬 清司	NPO法人茅野国際クラブ 会長
6	小野 栄美	NPO法人茅野国際クラブ 副会長
7	大谷 恵	NPO法人茅野国際クラブ 事務局
8	佐藤 未歩	NPO法人茅野国際クラブ ロングモント委員長

事務局

No.	氏名	所属・職名
1	平出 信次	茅野市教育委員会 生涯学習部長
2	藤森 隆	茅野市教育委員会 生涯学習部 生涯学習課長
3	田中 美和	茅野市教育委員会 生涯学習部 生涯学習課 生涯学習係 国際交流推進担当

茅野市多文化共生・国際交流推進計画

発行 平成 30 年(2018 年) 3月

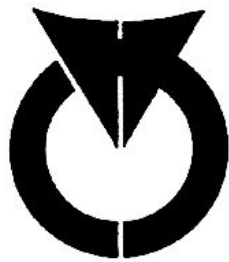
編集 長野県茅野市・茅野市教育委員会

(生涯学習部生涯学習課)

〒391-8501 長野県茅野市塚原二丁目6番1号

TEL(0266)72-2101(代) FAX(0266)73-9843

ホームページ <http://www.city.chino.lg.jp>



みんなで作る
みんなの茅野市